

小学生高学年の部



水は大切に

石巻市立石巻小学校 4年 眞山 悠子

わたしは、小学校三年生の二月に東京から石巻にひっこしました。ひっこす前に石巻に何度か遊びにきました。初めて石巻市にきた時、

「海がきれいだね。」

「海のおいがするね。」

とお母さんと話しました。水を飲んだ時もおいしくて、天ねん水だと思っていました。

「水道水だよ。」

とお父さんに言われてびっくりしました。

「水道からこんなにおいしい水がでてくるってすごいね。」

と話しました。石巻ってすごいなあと思いました。

わたしは、こんなにおいしい水をどうやってつくっているのかなと思っていました。社会の「水はどこから」の学習をしてようやく分かってきました。水は、森やダム、川を通過して、じょう水場から来ていることが分かりました。石巻の水道の水は北上川の水をもとにしているそうです。北上川の水は、見たときは、そんなにきれいには見えませんでした。こんなにおいしい水にかわるのは、じょう水場のしくみがすごいのだろうなと思いました。

じょう水場は、安心して飲めるきれいな水をつくる工場の役目をしています。水がきれいになるまでたくさんのしくみがあります。じょう水場で働く人は、安全な水をとどけられるようにじょう水場から送られる水ににごりやばいきんがないか、きけんなび生物などがいないか毎日水質けんさをしてくれています。おいしい水ができるまでにたくさんの人たちががんばっていることが分かりました。

東京にいたときは、東日本大震災を知りませんでした。でも石巻に来た時にお父さんと先生に教えてもらいました。東日本大震災の時に、水道の水が止まったそうです。私は、水道から水が出ないことがしんじられませんでした。水も飲めないし、手も洗えないし、お風呂も入れない、せんたくもできないし、とてもたいへんだったと思います。水は水道からあたりまえのように出てくるのかと思っていましたが、じしんがおきたりすると出なくなることが分かりました。私は水が飲めなくなったら悲しいです。

私は、水道から水が出なくなることがあることを知り、水は大事に使いたいと心から思いました。お風呂でかみをあらう時や、朝、顔をあらう時は、水を止めたいと思います。5さいの弟も、水をだしっぱなしにすることがあるので、水を大切に使うように教えたいと思いました。ふだんから、水を大切に使うていれば、水道から水が出なくなったり、少しの水で生活しなければいけない時も、あまりこまらないと思います。毎日、水を大切に使うことは、私たちのみらいの安心安全につながっています。みんなで水を大切に使うていましょう。